

# 事務局からのお知らせ

## ● 事業実施状況報告(10月末)

		令和3年	令和4年
会員数(人)	男	1,329	1,304
	女	446	481
	計	1,775	1,785
就業実人員(人)※		1,467	1,498
就業率(%)		82.6	83.9
受注件数(件)	公共	35	44
	民間	2,611	2,579
	派遣	110	117
請負契約金額(千円)		419,095	434,918
派遣契約金額(千円)		74,902	83,941

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

## ● 取材します

地域班会議、職群班会議、ボランティア活動など、センターの会員として活動している姿を広報部会が取材します。

広報部会担当の松田まで連絡してください。

## ● 契約(請負・委任)の更新について

請負契約あるいは委任契約の契約期間は、年度毎(4月1日～翌年3月31日まで)です。

毎年2月1日には、発注者に契約更新のお願いと契約更新の有無の確認を行っています。

● 会員個々に契約更新のお知らせは行っていません。

● 契約が終了または、就業条件等(配分金や就業時間)に変更があるときは、担当ジョブコーディネーターからの連絡や事務連絡でお知らせします。

● 就業条件等は、受注票で確認してください。

## 編集後記

▼令和4年は新型コロナウイルス第6波感染拡大に始まり、北京冬季オリンピック・パラリンピック及びサッカーワールドカップカタール大会での日本選手の活躍、ヤクルト村上選手が最年少三冠王に輝く、フギューアスケートGPファイナルでの男子・女子・ペアのトリプル優勝、井上選手のプロボクシングのバンタム級世界4団体王座統一、大谷翔平選手のアメリカ大リーグでの活躍、円安進行に伴う物価高の家計への直撃等、話題の多い年でした。  
また、各種イベントでの入場者数制限の解除及び年末から全国旅行支援の再開に伴うインフルエンザ及び新型コロナウイルスオミク

ロン株の感染拡大、物価高の更なる進行が危惧されている状況です。シルバー人材センターの会員の方々も新型コロナウイルスワクチン予防接種、インフルエンザ予防接種、感染防止対策の継続実施等、大変なご心労がある中で就業されたことと思います。  
令和5年は全国旅行支援の継続実施が予定されており、全国的な人の移動に伴う新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の可能性があり、オミクロン株対応ワクチン予防接種や感染防止対策の実施等を引き続きお願いします。会員皆様の御健勝を祈念しております。  
【広報部会S】

# ゆずりは

第126号

編集・発行 令和5年1月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター  
〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1  
柏市保健勤労会館 2階  
TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150  
URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>  
メール [kashiwa@sjc.ne.jp](mailto:kashiwa@sjc.ne.jp)

### ■ 配分金支払日

<input type="checkbox"/> 12月分	1月25日(水)
<input type="checkbox"/> 1月分	2月27日(月)
<input type="checkbox"/> 2月分	3月27日(月)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

## ゆずりはクイズ Part54

- Q1、次回のシルバーサロンは何月何日でしょうか?
- Q2、令和5年10月から導入されるインボイス制度で、令和6年度のセンターの納税コストは何円でしょうか?
- Q3、シルバーの顔の下総さんは「悩み事相談員」のボランティアを何年しているのでしょうか?

☆ヒント:4面、5面を見てください。

◎答をハガキに書いて事務局に送ってください。  
締め切りは**2月10日(金)**です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。  
ご応募をお待ちしています。  
会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

◎ ゆずりはクイズ Part53 の正解

- Q1の答:33人
- Q2の答:植木班
- Q3の答:感謝されること

応募数14通  
うち正解者数  
13通でした。

**センター緊急連絡先 080-1293-8569**

この電話はセンター業務時間外に回答します。連絡は、緊急なことかどうかを考えてから電話をしてください。



## 目次

- 2P 会長挨拶、柏市長挨拶 / TOPIC
- 3P 柏促進協セミナー / クリーンスタッフ講習会 / 新入職員紹介
- 4P シルバーサロン / 除草班会議
- 5P シルバーの顔 / ジョブコラム / インボイスの情報
- 6P 交通安全講話 / シルバー学び隊 / SG会
- 7P 介護サポートサービス情報 / フレイル予防
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



土地区(逆井班)下総 艶子さん  
P5をご覧ください!!

## 会長挨拶

会長  
日野 良英



新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大から既に3年が経過しようとしていますが、未だ収束が見えず、社会経済情勢に深刻な影響が続いています。当センターも諸活動に大きな制約を受けています。変化する状況への対応が求められる中、昨年は、保育園玩具消毒作業、ワクチン接種補助作業、小学校こどもルームなどの契約拡大、少会員町丁での会員募集チラシ・ポスティング、パレット柏での入会相談会開催などを行いました。最低賃金改定の取組みも行い、会員数、契約額とも昨年を上回る状況で推移していますが、依然厳しい状況下にあります。

今年は、インボイス制度実施の大きな施策が始まります。新たな納税額負担に取り組まなければなりません。この中で、会員の拡大、契約確保を持続していくために、発注者から満足の得られる就業提供が大切です。会員の皆様の長年培ってこられた豊かな知識や経験により、信頼を維持・向上されることを期待しています。

シルバー事業の推進に引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
結びに、会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 柏市長挨拶

柏市長  
太田 和美



新年明けましておめでとうございます。  
柏市長の太田和美です。

会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、長年培ってこられた経験や知識を活かし、日常生活に密着した就業を通じて、地域社会に貢献していただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の流行に加え、世界情勢の不安定化やそれに伴う様々な分野での物価高騰など、本市を取り巻く状況は日々変化しております。なかなか先を見通すことが難しい状況にありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応はもとより、「住みやすい街ナンバーワン柏」を目指し、地域経済の活性化をはじめ、子育て環境の充実や地球温暖化対策等の取組みを進めてまいります。

また、誰もが健康で安心して暮らせる社会を目指し、生涯現役社会の推進を図るため、貴センターと連携を深めながら、高齢者の方々の就労を支援し、自己実現と社会参加を後押ししてまいります。

結びになりますが、会員の皆様のご健康とご多幸、柏市シルバー人材センターの益々のご発展を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

## TOPIC



昨年9月28日、山口常務理事兼事務局長以下、センター職員で柏市を訪問し、昨年4月に就任された加藤副市長（財政担当）、奥田副市長（シルバー担当）にお会いし、今年10月から導入されるインボイス制度に伴うシルバー人材センターへの更なる支援（就業、事務費、補助金等）を要請しました。

これまでも定期的に副市長を訪問し、保育園や学校での就業拡大や駐輪場のエアコン設置等の要望活動を少しずつ実現してまいりましたが、このような形式での要請は初めてとなります。

◀ 左から加藤副市長、奥田副市長、鈴木経済産業部長  
右側 山口常務理事兼事務局長とジョブコーディネーター

## ● 生涯現役学んで働く福祉のお仕事セミナー

昨年10月26日、アミュゼ柏で柏市生涯現役促進協議会が主催する「福祉」に関連したセミナーが開催されました。

参加者は55歳以上の福祉の分野（高齢、障害）で働きたい方が対象でした。当センターからジョブコーディネーターの新井と蓑内が参加しました。

第1部の基調講演は、東京都健康長寿医療センターの藤原氏が講演。「シニアが働く、三方よしの地域づくり」と題したもので、約30名の参加者が聞き入っていました。

第2部は、センターの蓑内ジョブコーディネーターから、福祉関連に的を絞った内容で幅広くセンターの状況を説明され、とてもわかりやすく、雇用促進に役立つ内容となっていました。

参加者は女性が多く、メモを取ったり質問をされたり意義のあるセミナーで、参加された方々の関心はいつそう深まっていた。



## ● 施設クリーンスタッフ講習

昨年10月4日、センター大会議室で千葉県シルバー人材センター連合会主催の講習会に会員8名が参加しました。

講習内容は、「清掃」についての座学と実技です。はじめに清掃作業のポイントを確認するためのDVD視聴、教材による説明、洗剤の種類と特徴、トイレ・洗面化粧台・ガラスの拭き掃除、次に道具（スクイジー、タオル、箒、モップ）の使い方を学びました。午後は、実際にセンターの窓ガラス、トイレ、廊下を教材に講師の指導を受けながら実習を行いました。

午前10時に始まり午後4時まで、1日中「清掃」の講習会となりました。受講された会員から「清掃は奥が深いなあ」「清掃箇所により洗剤を変えること」「きれいになるコツを教わった」などの感想が聞かれました。知識を深めて役に立つ無料の講習会を今後も実施してまいります。

## 新入職員紹介

JOB Coordinator  
ジョブ  
コーディネーター  
いとう ひろただ  
伊藤 弘正  
(北部担当)



Office Clerk  
事務補助スタッフ  
しばつじ みなこ  
芝辻 美奈子



ジョブコーディネーターの蓑内様、事務補助の佐藤様が退職されました。お疲れさまでした。

## ● シルバーサロン

昨年11月10日、パレット柏にて「シルバーサロン」が開催されました(9月開催はコロナ禍で延期)。

当日は、開始時間前から数名の方が待っていました。会場には、日野会長のほか、役職員(計8名)で来場した市民に対応しました。前回は開始時間に殺到し混雑しましたが、今回は受付から個別の説明、退場までの流れも改善され、スムーズな対応が図れ、来場者を待たせることもなく実施出来ました。また、説明の時間も取れて来場者との懇談も進みました。

来場者25名の中には通りかかった方々も入り口にあった掲示板をご覧になり、職員からのお声かけにより参加をされた方もおられました。このような出張型



の入会説明会は集まりやすく、シルバーサロンは有意義でこれからの会員確保の鍵になると思われます。

## 第6回 シルバーサロン 参加無料

- 日時** 令和5年2月13日(月)  
13時~16時
- 場所** パレット柏多目的スペースA
- 内容** (1) センターと会員、会員相互の情報交換  
(2) 市民にシルバー人材センターのご案内
- お申込み** 直接会場にお越しください



## ● 第1回除草班会議

昨年10月31日、令和4年度第1回除草班会議がセンター大会議室で開催されました。会議は高橋班長の挨拶で始まり、和田職員の司会進行で議事が進められました。

議題は「除草作業件数」「安全作業」「発注者からの苦情」「作業日報付属書類」「刈草処分」「消耗品購入」「除草班名簿」についての7項目で、除草班の班員総勢16名の出席で熱心な審議が行われました。

安全作業については、「全国レベルでは就業中に蜂に刺されて亡くなった事例も発生しており、各職場での災害ポテンシャルを考えての安全対策が望まれます」と薬師寺安全委員長から話がありました。

また、発注者からの苦情では、「作業予定日の連絡が無い」など、最近では高齢の方も多く迷惑電話撃退機の普及もあり、登録した番号以外は電話に出ないケースも多く、課題は、お引き受けするときにこれらを踏まえ

た確実な連絡方法を決めておくなど対策の必要性がありそうです。そのほか、最近の物価高騰に関連して燃料代の値上がりなど引続き検討する要望もありました。

その他の項目についても「作業上の問題点」や「検討項目」「各種要望事項」などが多くあり、その詳細な内容については各除草班員に会議資料をお渡ししているので議事録も含めて各班に周知をお願いいたします。



## ● シルバーでの仕事

柏駅東口近くにある大型駐車場で清掃の仕事を4年されています。

駐車場は6フロアー、毎日階段を使っでの移動は足腰の鍛錬と前向きに挑戦。女性4人で時間とフロアーを分けて作業をされています。トイレや手すりなどはお客様が気持ちよくご利用頂きたいと清掃には特に気を遣っています。車が走っているなかで安全第一、落とし物も多くその管理にも気を遣います。お客様から「お疲れ様」と声をかけられると働く喜びをいっそう感じますとのこと。

## ● 以前の仕事と現在

長年松戸市に住んでいたが、将来は税理士資格を取ろうと税理士事務所に勤めていました。蔵王のスキー場で知り合ったご主人はホテルで洋食の調理師さん。結婚してからはご主人の仕事の関連でフード関係も経験。

ボランティアで「悩み事相談所」の相談員を30年。これもご主人の理解があって出来たことで、相談される方のお役に立てていると思い今も継続しているようでした。



土地区(逆井班)  
しもぶね 下総 艶子さん

## ● 趣味とご家庭

昔はスキー、今は花柳流の流れを汲んで亡母の後を継いで踊りは大好き。シルバー人材センターでの「和おどり」、松戸の無形文化財となっている「万作おどり」、その他個人レッスンなど自分の喜びを他の方にも分け与えておられるようです。お二人の子ども達も独立、二人のお孫さんも成長され今はご夫婦二人。可愛い猫ちゃんと明るいご家庭を感じました。

## ジョブ コラム

JOB column

昨年8月にジョブコーディネーター(所謂JC)になって約4か月、まだまだ駆け出しです。皆さんに覚えていただきたいので今回は自己紹介をかねて寄稿します。

名前は井口太(いぐち ふとし)、福岡県大牟田市で昭和31年に生まれました66歳です。名前の由来は当時全盛のプロ野球西鉄ライオンズの中西太から来ているようです。なので、私はいまだに西武ライオンズを応援しています。

柏市には結婚して移り住み、今年で38年になります。ただ、勤務地の都内と自宅の往復の日々だったので、長く住んでいる割には柏市の地理などはよく分かっておらず、JCとしての担当

地域(南部を担当しています)についても地図を見ながら皆さんにお仕事を紹介する日々です。

JCを担当し、市内のお客様や会員の皆さんと知り合うことができ真に柏市の住民になりつつあることを実感しています。

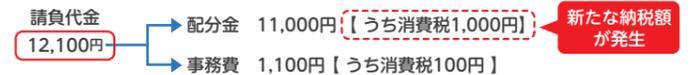
特に会員の皆さんには大いに刺激を受けています。年齢に関係なく就業を希望されており、就業を通じて社会と関わっていこうという意思を強く感じます。

これからも、いろんなお仕事を通じて皆さんのお役に立ち、皆さんとともに成長したいと思っていますので、新米JCですが今後ともよろしくお願いいたします。

【ジョブコーディネーター 井口】

## インボイスの情報

### インボイスイメージ図



**\* インボイス制度(適格請求書等保存方式)とは**  
2023年(令和5年)10月1日から導入される新しい仕入税額控除方式のこと。商取引における適用税率や消費税額を明記した「適格請求書」を交付・保存しなければ、仕入控除が認められない。

**\* インボイスの影響等**  
「商取引」: 請負・委任契約の代金(配分金、事務費)は消費税が含まれている(内税)。

例: 代金12,100円(消費税1,100円) → イメージ図のとおり  
内訳: 配分金11,000円(内税1,000円) 事務費1,100円(内税100円)  
会員がインボイスを発行しなければ、取引先(センター)は配分金に含まれる消費税額を仕入控除できないため、センターは当該消費税額(内税1,000円)を納税することになる。

なお、令和8年9月までの3年間は経過措置が適用され、消費税額の80%が控除され、以降令和11年9月までは50%の控除、令和11年10月からは控除不可となる。

### \* Q&A

- Q1** 会員がインボイスを発行しない理由は何?  
**A1** 会員は、原則免税事業者(年1,000万円以下の収入)であるため、配分金に含まれる消費税の納税義務は免除されます。会員がインボイスの登録をすると納税義務が生じます。
- Q2** センターの影響は?  
**A2** 新たな納税コストは、令和5年10月から令和6年3月の半年で約700万円、令和6年度は約1400万円が発生すると試算。

**\* 対応**  
センターでは、受注の事務費率の改定や市補助金の増額を要望するとともに、事業運営の合理化を進めて対応してまいります。

**\* 懸念**  
会員の僅かな収入に対し、形式的に事業者であることをもって、一律に消費税を課すことは地域社会に貢献しようとする高齢者のやる気、生きがいを削ぐことになり、地域社会の活力低下をもたらすもの。

## 交通安全講話

昨年11月29日、シルバー人材センター大会議室で、柏警察署員による「交通安全講話」を開催しました。

当日は、警察署員と市役所職員を講師に招き、徒歩や自転車通勤している会員を対象に実施しました。

柏警察署の交通課の方から、最近の事例や通勤時に気をつけることなどの講話があり、その後DVDによる「自転車」「歩行者」が起こしやすい事例を紹介。いずれも確かに私たちが経験しそうな事例でした。

講話が終わってからも、参加者から意見や質問があり、とても有意義な講話でした。

事故防止には「反射神経」も重要な事柄の一つです。講話終了後、「反射神経測定器」に皆さんがチャレンジ

し、自分の反射神経の測定では皆さん大いに盛り上がりました。

最近、公道における「自転車事故」や「歩行者」とのトラブルも多く発生しています。自転車も「車」の一部です。私たちが通勤時において「自転車」、「歩行者」双方で交通ルールやマナーを守り、そして「自分の身も守る」よう心がけたいものです。



## シルバー学び隊「和おどりの会」

昨年10月4日、シルバー学び隊事業の「和おどりの会」が富里近隣センターで開催されました。参加者はこの会の代表である下総艶子さんを含めて11名の参加がありました。



この会はシルバー人材センターの会員が中心となり、月2回開催されており、

「柏まつり」は3年連続で中止になってしまいましたが、次の開催を目標に皆さん楽しく活動されています。

今回も下総さんに親切丁寧に教えていただき、更にメンバーの方が得意な曲もあり、お互いに教え合う光景も見られました。皆さんがご存じの曲、新しい曲も用意されており、盆踊りでお馴染みの曲「柏おどり」や「炭坑節」「バハマ・ママ」「京北音頭」で楽しい時間を過ごしていました。

初心者も大歓迎です。是非お仲間と誘い合って来年の「盆踊り」「柏まつり」を目標にチャレンジしてみませんか？踊りを習ってみたい方は事務局までご連絡ください。

## 第32回 SG会

昨年10月17日、成田フェアフィールドゴルフクラブにて、初参加の1名を含め20名でコンペを開催しました。このコースでの競技は連続で4回目、柏から車で1時間程の距離、広大な丘陵に美しい光景、手頃な価格が好評だ。

天候は曇り、瞬時小雨、毎回天候には恵まれていなかったが今回は傘なしでOK。緑が美しい広大なコースを展望しティーグラウンドに立ち、力いっぱいクラブを振り回した。

全員の平均スコアで最良は3番ショートホール、6人がパープレー、最多打は18番ミドルホール、全員パーを逃した結果だ。

昼食はパートナー4人で、プレーのトレース、プライベートプレーの様子や就業状況などの話題で情報交換、初顔合わせでもシルバー会員の親しみ感がある。入浴で汗と疲れを流した後の表彰式は、広い部屋を確保しソー

シャルディスタンスを取って短時間で実施。

優勝を獲得したのは、「参加2回目、パートナーに恵まれ、ハンディキャップも頂いてラッキーだった」と語った戸田直次会員。入賞や順位賞、B G、B B、D C、N P賞の表彰と、受賞者の喜びの声を聞いて終了。

次回は5月15日の予定、元気で再会することを約束し閉会しました。 寄稿 日野良英



## 介護サポート サービス情報 ③

「介護サポート」の就業会員の体験などをシリーズでお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです (取材 女性部会役員)

- 内 仕事の内容
- 苦 苦勞したこと
- 始 仕事を始めるのに不安だったこと
- 楽 楽しいと思うこと
- 慣 慣れるのに要した期間
- 続 就勞期間、継続するためのポイント

### 体験1

内 高齢者施設の室内清掃とベッドメイキングのお仕事です。週に3日、9時から14時。仕事の効率性とトラブルを避ける為に3人組んで入室作業をしています。

苦 認知症の方にありがちな「私物が無くなった」と言われたこと

始 前職(スーパー勤務)と全く違う分野だったことが不安でした。事務所の方に「いつも家でやっていることをしてください」と励まされた。

楽 施設内に色々サークルがあり、その手伝いをするときに話が弾み自分自身も楽しい

慣 1か月位です。良き仲間に恵まれ精神的な不安も克服できました。

続 8年が経ちました。楽しく働く為に自分にも気を遣っています。20年以上続けている新舞踊・コーラスなど事務所や仲間の理解で両立しています。

### 体験2

内 月15日、8:30~12:30、高齢者施設でお洗濯を担当。業務用の洗濯機・乾燥機を使用して利用者様の衣類や職員の制服を洗濯~乾燥~たたみ~収納しています。

苦 洗濯する衣類の名前確認やポケットにボールペン等入っていないか気を遣います。

楽 利用者様から「洗濯していただいたから、フワツとして気持ちいいわ」等の言葉をいただく嬉しいですね。

慣 最初の1カ月はベテラン職員の方と一緒にだったので心強かったのですが、2か月目から一人で仕事をする事になり不安な時もありました。

続 この仕事を初めて6カ月経ちましたが、職員の方や入居者様とコミュニケーションがとれているので、楽しいです。人と接する仕事は得意ですが、感謝の気持ちが大切ですね。

## 寄稿

## フレイル予防「ありませんか？こんなこと」

はじめまして。柏市地域包括支援課です。今号から3回にわたり、認知症について知っていただく機会をいただきました。

みなさんは、認知症と聞いて、どんな印象を持ちますか？認知症は、脳のダメージにより、同じ話をいつも初めのように話したり、約束を守れなくなったりするなど、「記憶」や「時間の感覚」「判断力」などが低下し、日常生活に支障をきたす状態のことをいいます。令和4年10月時点の柏市介護保険データによると、認知症有病者数は8,392人で、高齢者の約14人に1人の割合で認知症を発症している状況です。今後も、高齢化が進むにつれ認知症有病者数は増加する見込みです。また、生活に支障をきたすほどではないものの、健康と認知症の間の状態をMCI(軽度認知障害)とよび、国では、高齢者の約8人に1人がMCIであると推定しています。MCIの約半数は、5年以内に認知症へと移行するともいわれており、重度化しな

いように注意が必要です。また、もの忘れと認知症の違いですが、例えば1例を挙げると、昨日の夕食の内容を思い出すことができない状態を「もの忘れ」といい、「認知症」になると、夕食を食べたこと自体を忘れてしまいます。糖尿病や高血圧などの生活習慣病と同じように、MCIの状態にいち早く気づき、もの忘れの進行を遅らせることが脳の元気を保つ秘訣です。年齢を重ねることで「人の名前が思い出せなくなった」「物事に集中しづらくなった」などの症状が気になり始めたら、予防に向けた活動開始のサインです。早めに対策をとることで、MCIから健康な状態に戻ったり、認知症であっても、進行を緩やかにすることができる場合もあります。

そこで、今回は認知症予防の具体策、「認知症の予防に大切なことは？」についてお話しします。

柏市地域包括支援課 TEL 7167-2318